

ホームホスピス<sup>®</sup>を **始め**たい人  
ホームホスピス<sup>®</sup>を **学**びたい人

のための

# ホームホスピスの学校

2021年6月スタート(予定)

詳しくは、全国ホームホスピス協会ホームページへ

<https://homehospice-jp.org>



## A ホームホスピス「つくる」コース

### ● ホームホスピスを開設したい人が受講する研修プログラム

理念やケアの哲学および運営や管理についての座学（オンライン講座）と1ヶ月程度の現場実習（ホームホスピスの現場で実際のケアに携わる）で構成されます。修了後は、協会のサポートを受けながら、ホームホスピスの開設を目指します。

## B ホームホスピス「まなぶ」コース

### ● ホームホスピスの理念やケア・看取りの哲学を学びたい人が受講する研修プログラム

理念やケアの哲学についての座学と数日間の現場実習（ホームホスピスの現場で実際のケアを体験する）で構成されます。修了後は、学びを活かし、各地・各分野で活躍していただきます。



ホームホスピス<sup>®</sup>は、全国ホームホスピス協会の登録商標(区分：第44類)です。

# 研修「ホームホスピスの学校」の概要 (HHはホームホスピスの略)

## 1 ▶ 研修の対象者

### A HHつくるコース

原則として、運営責任者（若しくは事務責任者）と現場のケアリーダーになる方の両者（チーム）に受講していただきます。ケアリーダーは実際のケアに従事するため、看護師または介護士の資格を持っていることが条件となります。（ケアリーダーの年齢は、原則 65 歳以下とします。）

### B HHまなぶコース

#### ◎ 専門コース

ホームホスピスの理念に共感し、現在従事している仕事に活かしたいと考えている方（看護師、介護士、その他の医療福祉業務の従事者）。

#### ◎ 一般コース

現在、関連の仕事には従事していない、または専門資格を有していないが、ホームホスピスの理念に共感し、学びたいと考えている方。

## 2 ▶ 研修プログラム

### A HHつくるコース

| 種別   | 分類    | 科目  | 期間・時間 <sup>(※1)</sup> |
|------|-------|---|-----------------------|
| 座学①  | 理念とケア | ホームホスピスの基本  | 2時間                   |
|      |       | ケアの哲学   | 2時間                   |
|      |       | ホームホスピスのケアと環境   | 4時間                   |
| 座学②  | 運営    | 開かれた運営  | 1時間                   |
|      |       | 地域づくりへの関わり  | 1時間                   |
|      |       | スタッフの人材育成   | 1時間                   |
|      |       | 安全管理  | 2時間                   |
|      |       | 組織づくりと持続可能な運営   | 4時間                   |
| 実習①  | ケア    | 住まいであること<br>とも暮らしという暮らし方<br>日々の個別ケア<br>看取りのあり方            | 20日間以上<br>[4]※3を参照    |
|      | 運営    | 開かれた運営（実習）<br>地域づくりへの関わり（実習）<br>スタッフの人材育成（実習）<br>安全管理（実習） |                       |
| 事務研修 | 運営    | 物件選定・労務管理・料金設定・契約・法人設立など<br>(協会事務局が担当)                    | 半日～1日                 |

### B HHまなぶコース

| 種別  | 分類    | 科目                 | 期間・時間 <sup>(※1)</sup> |
|-----|-------|--------------------|-----------------------|
| 座学① | 理念とケア | ホームホスピスの基本         | 2時間                   |
|     |       | ケアの哲学              | 2時間                   |
|     |       | ホームホスピスのケアと環境      | 4時間                   |
| 実習② | ケア    | 日々の個別ケア<br>看取りのあり方 | 原則3日間                 |

※1) 科目の期間・時間については、内容により変更になる場合があります。

## 3 ▶ お申込み・審査

### A HHつくるコース

### B HHまなぶコース

ホームページから申請書類をダウンロード

書類に記入後、協会事務局に郵送 (〒)

事務局から研修の詳細について連絡

受講開始

座学①の受講終了後に面接<sup>(※2)</sup>

全課程を修了時に報告書を提出

書類審査の結果（修了認定の可否）を通知

修了証の授与

※2) 面接の結果によっては、次の課程に進めない場合もあります。

## 4 ▶ 研修の形態

### 全 各コース共通

座学は、基本的にオンライン講座です。実習は、実際に指定研修先のホームホスピスの現場に入って体験していただきます。研修先は、現在全国に 13 ヶ所ある認定ホームホスピスとなります（今後増える予定）。座学は科目ごとに、また実習は毎日、受講報告書（日報）を書いていただきます。また、研修期間中に、オンラインミーティングにより研修生同士の交流を図る機会も設けます。

### A HHつくるコース

ケアリーダーは、「座学①」及び「実習①<sup>(※3)</sup>」の受講が必須。運営責任者（若しくは事務責任者）は、「座学①」「座学②」及び「事務研修」の受講が必須となります。座学については、複数名（2～3名）での受講も可能です。実習先については、面接時に個別相談の上決定します。また、受講生は、研修中または修了後1年以内に開催される、会員向け研修会「ホームホスピス実践者育成塾」（受講料は別途）にも必須研修として参加していただけます。

※3) 実習①については、基本的に 20 日間以上の研修とします。連続（法定休日を除く）した 20 日間の研修ができない場合は、必ず連続した 5 日間の研修を 2 回含むスケジュールで実施します。それ以外の 10 日間については、状況及び事情に応じた組合せを可能とします。

### B HHまなぶコース

専門コースの受講者は、「座学①」及び「実習②」の受講が必須となります。「実習②」は、原則 3 日間<sup>(※4)</sup>です。一般コースの受講者は、「座学①」の受講が必須となります。実習先については、受講決定通知に記載します（応相談）。受講生または修了生は、会員として「ホームホスピス実践者育成塾」（受講料は別途）に参加していただくことが可能です。

※4) 基本的な構成として、1 日目は、午前中にオリエンテーション、午後から実習。2 日目は、終日実習。3 日目は、午前中に実習、午後は反省会。

# 研修料について

## A HHつくるコース

座学① + 座学② + 実習① (20 日間の場合) = 180,000 円

## B HHまなぶコース

座学① + 実習② (3 日間の場合) = 38,000 円 (専門コース)  
座学① = 20,000 円 (一般コース)

※ HHつくるコースは、この他に「ホームホスピス実践者育成塾」への参加 (原則、運営者、ケアリーダー各 1 名) が必須 (4 [研修の形態] 参照) となりますが、上記の料金にその参加費は含まれません。

## 【料金の内訳】

| 種別   | 料金 (税込み)    | 備考                            |
|------|-------------|-------------------------------|
| 座学①  | 20,000 円    | 2021 年 HH 全国合同研修会の参加費 1 名分を含む |
| 座学②  | 40,000 円    | 事務研修を含む                       |
| 実習①② | 6,000 円 / 日 | ①② 共通単価                       |

※ 受講開始時に座学①の料金を納入していただきます。座学②及び実習の料金につきましては、受講内容が決定次第、ご案内いたします。

## ホームホスピス実践者育成塾について

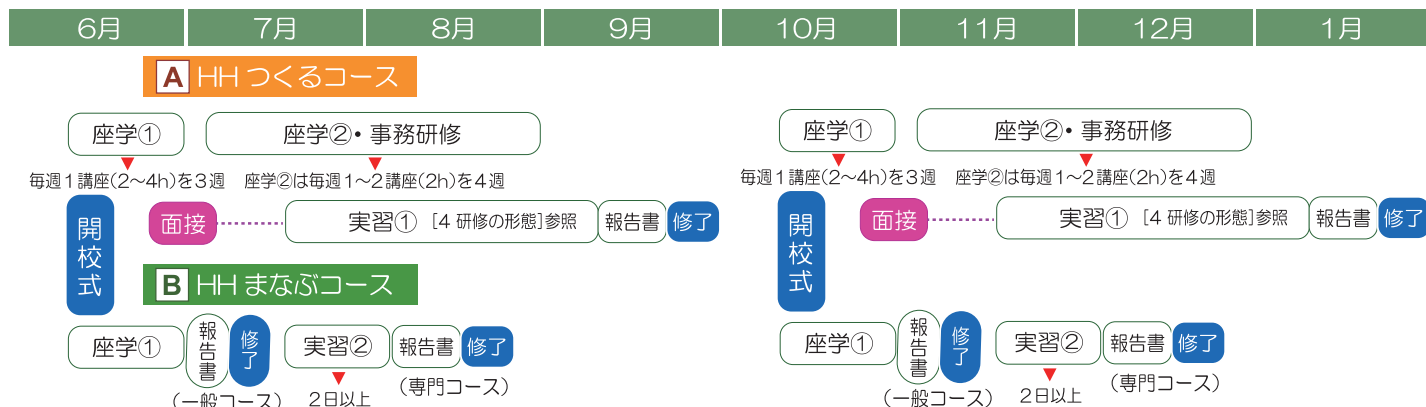
ホームホスピスの「理念の共有」と「ケアの向上」を目指して、2017 年より実施している研修会です。育成塾の対象者は、「ホームホスピスの学校」を受講中の方、ホームホスピスの運営者、管理者、スタッフ、また、ホームホスピスに関心があり、近い将来に開設したいと考えている方です。内容は、ホームホスピスの理念を具現化する取り組みや、組織運営のポイント、ケアと環境について学ぶ「総論」と、医療連携やケアの技術習得、また実践事例を学ぶ「各論」で構成されます。2021 年の育成塾は、「総論」、「各論」を合わせて 3 日間、会場とオンラインによるハイブリッド形式で 9 月に開催の予定ですが、詳細は後日ホームページ等でご案内いたします。参加費については、プログラムの内容により異なりますが、およそ 1 日当たり 6,000 円程になります。



育成塾「各論」ワークショップ (2018)

# 研修スケジュール(予定)

基本的に年間で 2 回の開校を計画しています。



※ 表中の実習の期間は、目安です。それぞれ事情等を考慮して個別に設定します。

# 修了後の活動について

## A HHつくるコース

全国ホームホスピス協会の準会員として、協会のサポートを受けながらホームホスピス開設に向けて準備を行っていただけます。

### 【特記事項】

- 原則 3 年以内にホームホスピスを開設する。
- 育成塾は準会員として参加可能、また 2021 年度の全国大会は参加費無料。
- 準会員の年会費 30,000 円 (団体会員)

## B HHまなぶコース

HH サポーター (賛助会員) として、介護や看護の現場でホームホスピスの理念 (マインド) を持って活躍していただくと同時に、在宅看取りの普及にもその学びを生かしていただけます。

### 【特記事項】

- 育成塾は会員として参加可能、また 2021 年度の全国大会は参加費無料。
- 賛助会員の年会費 5,000 円 (個人会員)

## 研修者の声

HH宝塚つ・む・ぐの家  
理事長 西野 マリさん



[2020 年度まで実施されていた日本財団「ホームホスピス実践リーダー養成研修」の修了者]

きっかけは、私たちの町、宝塚にホームホスピスがなかったこと、「神戸なごみの家」の松本さんの講演を聴き、福祉の現場でできなかったことができる！ 私たちにもできるかも、と希望を持ったことです。

研修 (実習) は、初日より、見て・教えてもらうという研修とは大きく違い、勤務の中で実践して学ぶというスタイルに驚き、初の夜勤の経験、ともに暮らすという実働の大変さも痛感。

でも、その経験が、今まさに実践へのツールであったと実感しています。

開設に当たっては、耐震性や防火の規制などがある中で、ここで「とも暮らし」をしたいと思う家に出逢うことが一番大変でした。

今の目標は、地域とつながること。「どこで最終章を迎えたいか」などをテーマに発信する場を作っていきたいと思っています。



# ホームホスピス<sup>®</sup>とは



一般に日本のホスピス（緩和ケア）は、がんやエイズの末期にある人を対象としていますが、ホームホスピスは、がんに限らず、あらゆる病いや障がいをもって生きる困難に直面している人とその家族がケアの対象です。一軒の家（民家）に5～6人程度がともに暮らし、その住人を介護スタッフや地域の医療連携チームが支えるのがホームホスピスです。一人暮らしで家族の居ない人も、ともに暮らし合う関係を築いていきます。そして、痛みやそのほかの身体的なケアだけでなく、生活者として人生の幕を閉じるまで、住まいを中心に医療、介護、生活支援が一体となったケアの体制を構築します。

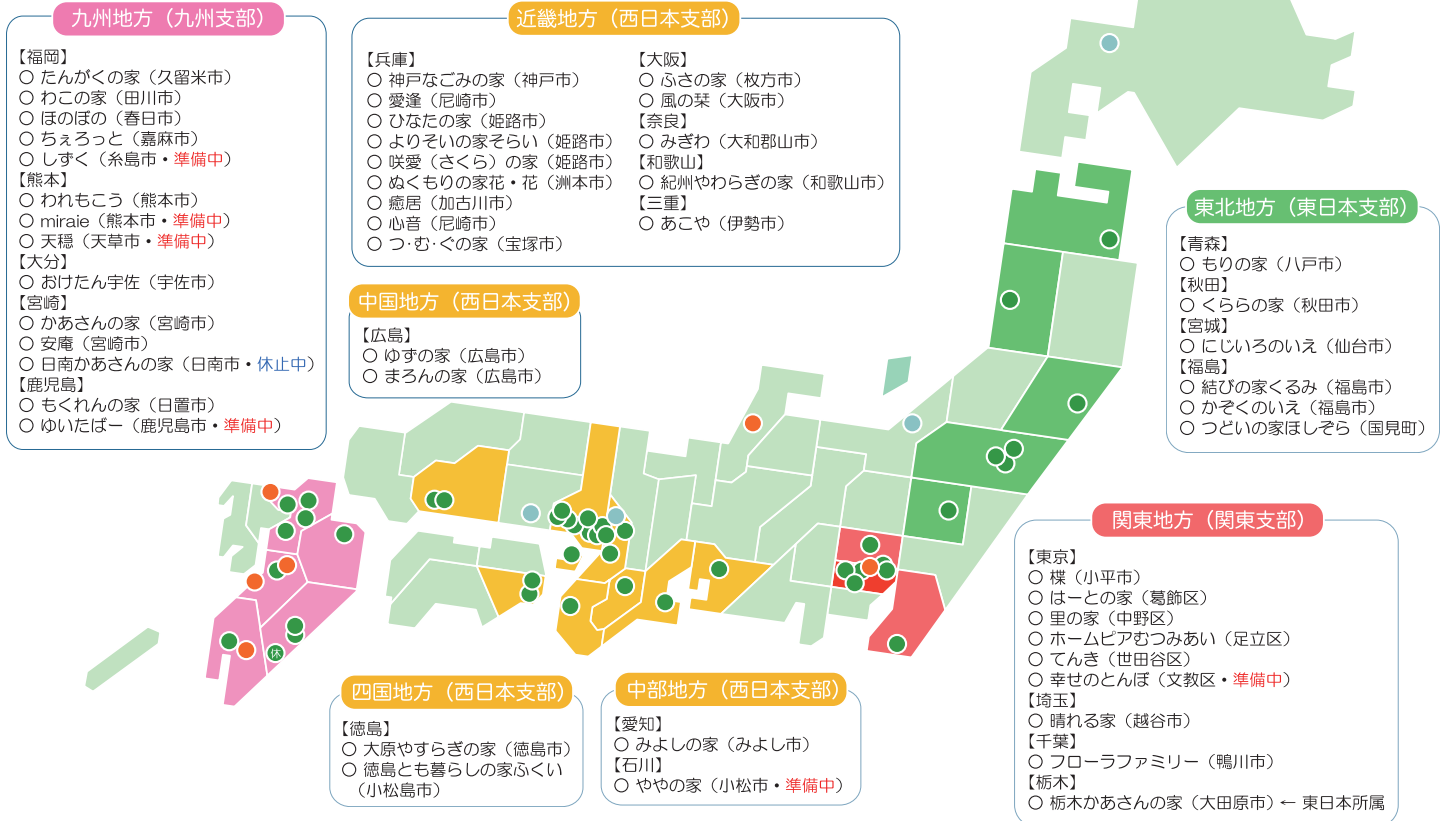
## 全国ホームホスピス協会によるサポート

| ● 開設のサポート   | ● 運営のサポート  | ※ 研修の種類                                    |
|---|--|--|
| ① ホームホスピスの学校<br>② 法人がない場合、設立のサポート<br>③ 運営体制に関するアドバイス<br>④ 物件選びと改修のアドバイス<br>⑤ 行政への申請などに関するアドバイス<br>⑥ 助成金の申請のサポート | ① 料金設定に関するアドバイス<br>② 労務管理に関するアドバイス<br>③ 組織管理に関するアドバイス<br>④ 認定に向けてのレビュー<br>⑤ 各種研修(※)の実施 | ・実践者育成塾<br>・スキルアップ研修<br>・全国合同研修会<br>・支部研修会 |

## 全国のホームホスピスマップ

2021年3月1日現在

- 運営中のホームホスピス（協会正会員）
- 開設準備中のホームホスピス（協会準会員）
- 準備中の研修修了者
- ホームホスピス<sup>®</sup>がない都道府県



お問い合わせ先  
 全国ホームホスピス協会 事務局  
 〒880-0913 宮崎市恒久2丁目19-6  
 電話：0985-65-8087 FAX：0985-53-6054  
 Mail：info@homehospice-jp.org HP：https://homehospice-jp.org

Supported by THE NIPPON FOUNDATION